

令和6年度 ハッピーハート寺地 自己評価総括表

保護者評価実施期間：令和6年10月1日～10月31日 保護者対象者数：23 回答：18

従業者評価実施期間：令和6年10月1日～10月31日 従業者対象者数：8 回答：8

	事業所の強みだと思われること (より強化・充実を図ることが期待されること)	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援体制	支援前の打ち合わせと終業後の振り返りを必ず行い、職員間の情報共有を行っている。 常にコミュニケーションをとり、発言しやすい雰囲気作りに努めている。 事業所内研修、ハッピーハートグループでの全体研修を定期的に行い、研修等を通してスキルアップに努めている。 専門的支援員の配置を充実させている。	明るい職場作りを心掛け、情報共有を図り、チームで支援に臨んでいく。 研修への参加または伝達研修を行い、職員全体のスキルアップを目指していく。
2	多様な活動プログラム	個別活動、小集団活動、集団での活動を通して、様々な体験、関わりができるように支援プログラムを用意している。 職員間でアイデアを出し合い相談しながら計画を立て、必要に応じてロールプレイを行うなどして、教材の研究を行っている。 活動予定や様子を、毎月おたよりを配布し、保護者の方にお伝えしている。	子どものニーズを大切に、子どもの声を大切にしてい く。 発達段階に応じた計画、PDCAサイクルでブラッシュアップを図っていく。 地域の資源を活用していく。
3	積極的な地域交流	毎月手作りカレンダーを地域の方にお配りし、交流の機会を設けている。 地域の緑化運動や公民館の文化祭へ参加。 地域の方を招いて発表会。	現在の活動を継続しながら、地域の方々と交流の機会を設けていく。 マナーやルールを守って、気持ちのよいあいさつを心がけていく。

	事業所の弱みだと思われること (事業所の課題や改善が必要だと思われること)	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や 工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブ等、他の子どもとの交流の機会	おでかけ（公園やその他子どもが集まる遊び場、お買い物や外食体験など）を通して、地域の方々とふれあい交流する機会をつくっているが、他の子どもと交流する機会は少なく、様子を伝えきれていなかった。	今後もおでかけなどを通して交流の機会を設けていく。 地域の子どもの交流に限定せず、ハッピーグループ内での交流の機会も引き続き設けていく。交流の様子も含め、ていねいにお伝えしていく。
2	家族等も参加できる研修の機会	研修会や講習会の情報を玄関に掲示して、送迎の際に見ていただけるようにしていたが周知が足りなかった。	今後も研修等の情報を提供していく。送迎の際や面談の際などにていねいにお伝えしていく。職員とご家族様が、一緒に参加できる研修の機会を設けていく。
3	保護者同士が交流する機会（保護者会など）	コロナ禍前は行っていたが、感染予防の意識から積極的になれなかった。ご家族の意向を確認できていなかった。	ご家族の方の意向を確認しながら企画、検討をしていく。